

令和元年度 第2回 岡山県医療対策協議会【議事要旨】

1 日 時：令和元年11月7日（木）15：00～16：20

2 場 所：メルパルク岡山 3階 「芙蓉」

3 出席者：別紙のとおり

4 議題

(1) 岡山県医師確保計画（素案）について

(2) 2020年度専攻医の募集におけるシーリングについて

①県からの意見等によるシーリングの見直し内容

②シーリング枠外とする地域枠卒業医師及び自治医科大学卒業医師について

5 議事要旨

(1) 岡山県医師確保計画（素案）について

事務局から計画策定の背景及び計画（素案）について説明があり、了承された。

(医師確保計画（素案）の内容)

- ・医師偏在指標による評価結果を基に、「都道府県」・「二次医療圏」ごとに、「医師確保の方針」及び「確保すべき目標医師数」を定め、「目標達成に向けた施策」を実施する。
- ・全体計画に加えて、産科・小児科における医師確保計画を策定する。

〈委員の主な意見〉

- ・医師少数区域（高梁・新見圏域及び真庭圏域）以外の二次医療圏においても、医師が少ない地域がある。そういった地域を医師少数スポットに設定してはどうか。
- ・医師少数区域以外の医師が少ない地域に対して、どのような支援や配慮をしていくのか。
- ・医師が少ない地域では、他の病院から非常勤で派遣されている医師が多いが、働き方改革で時間外勤務の上限規制が導入されることにより、医師が引き揚げられることが懸念される。どう対応するのか。

〈事務局回答〉

- ・県では全ての二次医療圏において、地域の核となるへき地医療拠点病院等に自治医大卒業医師及び地域枠医師を配置し、さらにそこから周辺のへき地診療所等への医師派遣を行っている。へき地医療拠点病院等は医師が多数いるため、当該エリアは医師の配置対象となる少数スポットにはならない。こうした施策と齟齬が生じないように、医師少数スポットは設けないこととした。
- ・働き方改革による医師の時間外勤務の取扱い等については、未確定な部分も多いが、岡山県医療勤務環境改善支援センターを通じて、各医療機関からの相談に対応し、必要な情報の提供、助言等の支援を行ってまいりたい。

(2) 2020 年度専攻医の募集におけるシーリングについて

① 県からの意見等によるシーリングの見直し内容

事務局からシーリングの見直しにより、シーリング当初案では過去2年採用実績(多い方の年)との比較で計23人の削減となっていたものが、計10人の削減にまで緩和されたことが説明された。

(見直し内容)

- ・地域枠医師及び自治医大卒業医師は、シーリング枠外での取り扱いを可能とする。
- ・過去2年採用数のいずれかが10未満である診療科については、シーリング数を過去2年採用数のうち大きい方の数値とする。また、過去2年の採用数が極めて少ない(5未満)診療科はシーリング対象外とする。
- ・地域貢献率の算出にあたっては、シーリング対象外の都道府県での研修期間に加え、県内の医師少数区域での研修期間も考慮する。

〈委員の主な意見〉

- ・地域貢献率の算入対象となる地域に、医師少数区域(高梁・新見圏域及び真庭圏域)以外の医師が少ない地域を入れられないのか。
- ・本協議会を通じて、オール岡山で意見書を提出したことにより、シーリングが緩和された。こういった取組を引き続き行っていただきたい。

〈事務局回答〉

- ・地域貢献率の算入対象地域は日本専門医機構が決定しており、機会を捉えて、そういった意見があることを伝えたい。
- ・来年度以降のシーリングについても、地域医療の実情を反映した制度設計となるよう、引き続き必要な意見を伝えたい。

② シーリング枠外とする地域枠卒業医師及び自治医科大学卒業医師について

シーリングの見直しにより、地域枠医師及び自治医大卒業医師がシーリング枠外での取り扱いができるようになったため、事務局から該当の3名(地域枠医師1名、自治医大卒業医師2名)をシーリング枠外とすることが提案され、承認された。

6 その他

糸島地域医療支援センター長から、令和2年4月から地域勤務を開始する地域枠医師と勤務候補病院とのマッチング状況について報告があった。

(報告内容)

- ・新たに地域勤務を開始する医師は3名
- ・勤務候補病院は、医師数の約1.5倍となる5病院を圏域別・病院評価別に選定した
高梁・新見圏域：渡辺病院、成羽病院
真庭圏域：落合病院
津山・英田圏域：中島病院、希望ヶ丘ホスピタル
- ・10月2日からマッチングを開始し、12月13日が締め切り